

EGOTERIC

DD • 10

このたびは、エソテリック製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、個々の部品選択から製造工程、出荷にいたるまで数多くの厳しい品質管理を一台一台受け製造する受注生産方式で製造されております。

最良のコンディションでご使用いただけますように、この取扱説明書と別冊の「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用になり末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

特長	5
解説	6
ご使用の前に	
●設置/使用上のご注意	7
接続	
●デジタル入力端子に接続するには	8
●デジタル出力端子に接続するには、 電源の接続	9
各部の名称と説明	
●本体前面	10~11
●本体背面	12
●リモート・コントロール・ユニット	13~15
ブロック・ダイアグラム	16
アフターサービスについて	17
仕様	18
寸法図	19

特長

DD-10 デジタルコントロールセンター

本機は、民生用のD/D変換器です。既存のデジタル再生機とD/A変換器や録音機の間に接続して起動させ、通信ジッタや可聴ジッタを除去することにより、動作の安定性や通信精度の向上をはかり、最終の性能や音質改善、および機能による最適化を実現することができます。

■可聴帯域のジッタを100分の1以上激減するDSRLL II

有害な可聴帯域ジッタを0.5Hzから2次の遮断特性(12dB/oct)で除去するクォーツロック回路です。入力と非同期動作のためサンプリングレート変換器として利用できます。

■非オーディオデータをクロックアイソレートするデジタルPLL

通信デジタルデータを水晶発振器(～30MHz)でサンプリングすることにより、サブコードジッタのオーディオ回路への侵入を防止します。入出力クロック間のジッタ絶縁効果があります。

■最高の性能を発揮する最先端2nd PLL

数理的デジタル位相検波器、デジタルループフィルタを採用することにより、従来から懸念されていた位相検波器の不感帯を無くし、リチウムタンタレートVCOを正確に制御します。ジッタを30Hzから2次の遮断特性(12dB/oct)で除去します。

■さらに進んだデジタルフィルタの高域帯域特性切換え

DSRLL動作時の減衰域特性を20dBブロードにすることにより、入力ソースに内包する不要振動や歪成分を緩和します。

■7ボックス銅メッキシャーシ&3点ピンポイント脚

DAIR部、D OUT部、整流部、AC入力部、パワートランス部など、7ボックス銅メッキシャーシ構造とする事により、内部干渉を防止します。また前方2点、後方1点のメカニカルアースポイントにハイカーボン鋳鉄材を採用したことにより振動分散効果が向上しています。

■8デジタル入力&4デジタル出力を装備

デジタル入力：

BNC(COAXIAL)	3系統	No.1～No.3
XLR(BALANCED)	1系統	No.4
TOS(OPTICAL)	3系統	No.5～No.7
ST(OPTICAL)	1系統	No.8

デジタル出力：

RCA(COAXIAL)	1系統
XLR(BALANCED)	1系統
TOS(OPTICAL)	1系統
ST(OPTICAL)	1系統

有効ビット数：20ビット

動作形式：

48KHz(DSRLL)
44.1KHz(DSRLL)
PLL(2nd PLL)

■その他の特長

- バックアップメモリ
- 42.0～+6.0dBゲインコントロール
- 入力ポラリティ切換え
- インバンドノイズシェーピング
- リモコン対応
- ソフトミュート

■高品位パーツ群

- 2カットコア大型トランス
- ベリー・ハイスピードCMOS全面採用
- SMB高周波用ケーブル

解説

1. **DSRLL** : “Digital Servo Ratio Locked Loop”の集合名称です。PLL回路の基本動作のように位相に同期するのではなく、デジタル入出力間のサンプリング周波数の比率に同期する超低速自動制御回路です。位相に非同期のため、効果的なジッタ除去器として機能します。遮断周波数を0.5Hz、遮断曲線を2次(12dB/oct)に設定することにより、40dB以上のジッタ除去特性を達成しています。それゆえに、5Hz~48KHzの全可聴帯域で、16ビット以上のタイミング精度を確保することが可能となりました。

2. **2nd PLL** : 2段PLLの2段目PLL回路のことです。初段PLL回路で通信帯域ジッタを除去し、後段PLL回路で可聴帯域ジッタを抑圧します。数理的デジタル位相検波器とデジタル・ループ・フィルタの併用により、従来から懸念されていた位相検波器の不感帯による入力相関ジッタの発生を排除でき、リチウムタンタレートVCOを正確に制御しています。遮断周波数を30Hz、遮断曲線を2次(12dB/oct)に設定する高精度PLL回路を構成しています。

3. **WIDE/NARROW** : DSRLL回路は、入出力非同期動作のため、入力信号から出力信号を算出します。ここに使用する補間演算は、64倍オーバー・サンプリング・フィルタと1/128倍デシメーション・フィルタのコンビネーションで、通常の同期(PLL)回路では必要としないデジタルフィルタ部が追加されます。この出力演算フィルタの係数やタップ数を操作することによって、減衰特性が急で高い**NARROW**と減衰特性が緩やかで低い**WIDE**を選択可能としています。

4. **インバンド・ノイズ・シェーピング** : 「帯域内の雑音で形作り」をする意味を持っています。従来のノイズ・シェーピングは、帯域外の量子化雑音で形作った信号に線形フィルタを通過させることによって量子化雑音を取り除き、帯域内の信号を表現する技術でした。今回の技術は、帯域内の最も高い周波数の雑音を利用して、比較的聞き取りやすい低い周波数の分解能を改善したものです。つまり、低周波分解能(ビット数)は、出力分解能(ビット数)を上回るようになります。応用としましては、汎用のD/A変換器やCDR、DATのような録音機などの有効ビット数の低い受信機へ送信するような場合に活用できます。

ご使用の前に

- ご使用の前に、別冊の「安全にお使いいただくために」とこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- この取扱説明書の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や財産への損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると、発生が想定される内容を〔警告〕、〔注意〕に区分して絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 注意事項のいずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、警告または注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

■設置／使用上のご注意

設置場所について



次のような場所でご使用になりますと、音質が悪化したり、故障などの原因となりますので設置しないでください。

- 窓際など直射日光の当たる場所。
- 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所、または極端に低い場所。
- 湿度の高い場所。
- 風通しが悪い場所。
- ホコリの多い場所。
- 振動の多い場所や不安定な場所。
- チューナーやテレビのそば。

*雑音や映像の乱れが生じることがあります。

本体のお手入れには



トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

*化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で拭かないでください。近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布しないでください。表面を傷める原因となります。

電源について



国内電源AC100V、50-60Hz以外の電圧で使わないでください。

電源コードは大切に取り扱いってください。特に、コンセントからはずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。

ケースを開けない



トップカバーや底板を開けて内部に手を入れないでください。感電事故の恐れもあり危険です。

落雷に対する注意



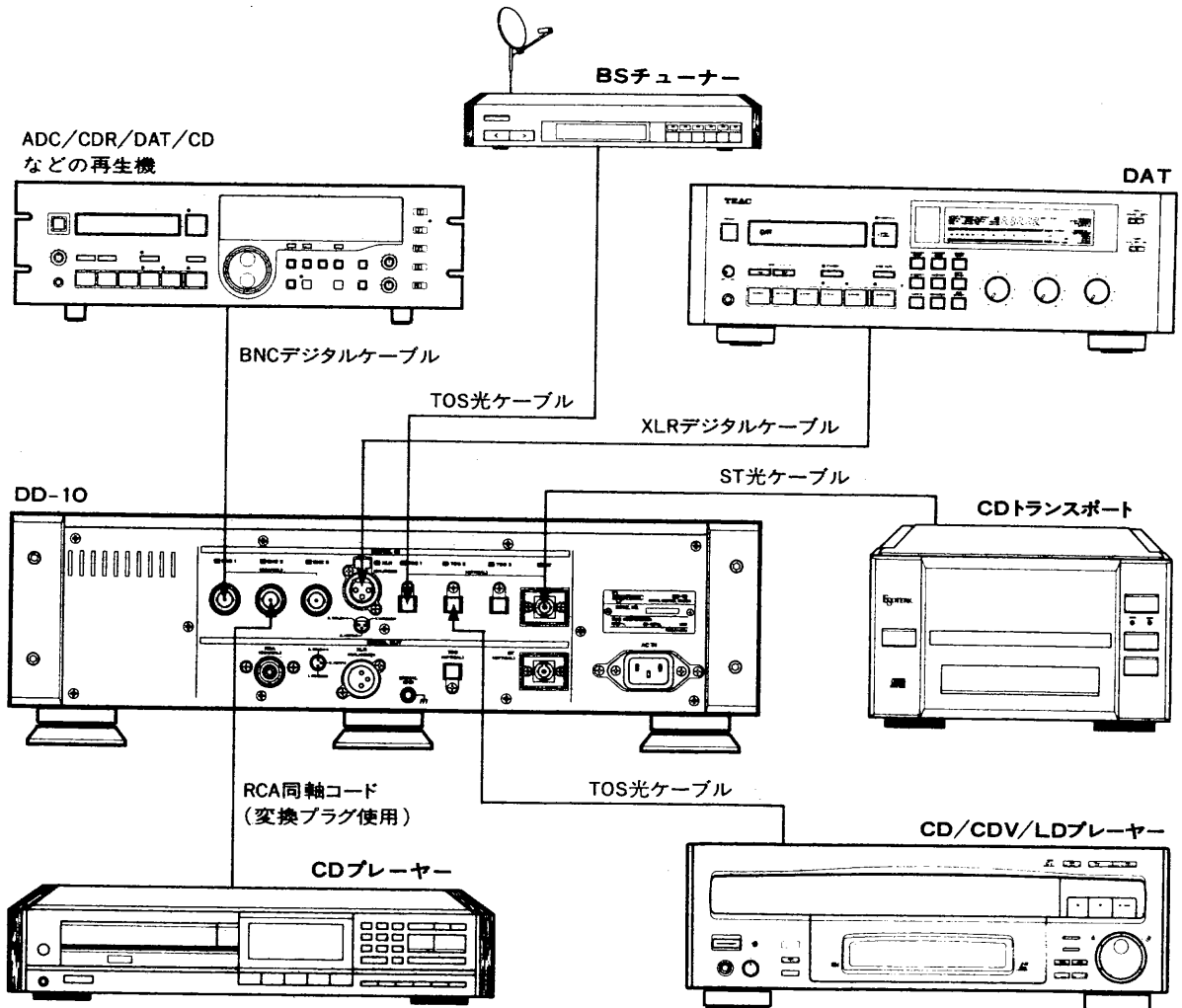
落雷のおそれのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

接続

■デジタル入力端子に接続するには

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、必ず機器の電源を切ってから接続してください。
- プラグは、しっかり差し込んでください。
- コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。
- 本機は(DIGITAL IN)端子としてBNC(COAXIAL)、XLR(BALANCED)およびTOS・ST(OPTICAL)を備えていますのでCDR/CD/DAT/LD/BSなど、デジタル出力を装備している機器を8台まで接続できます。
- * [BNC]端子にBNC-RCA変換プラグ(付属)を接続するとRCA同軸コードで接続できます。

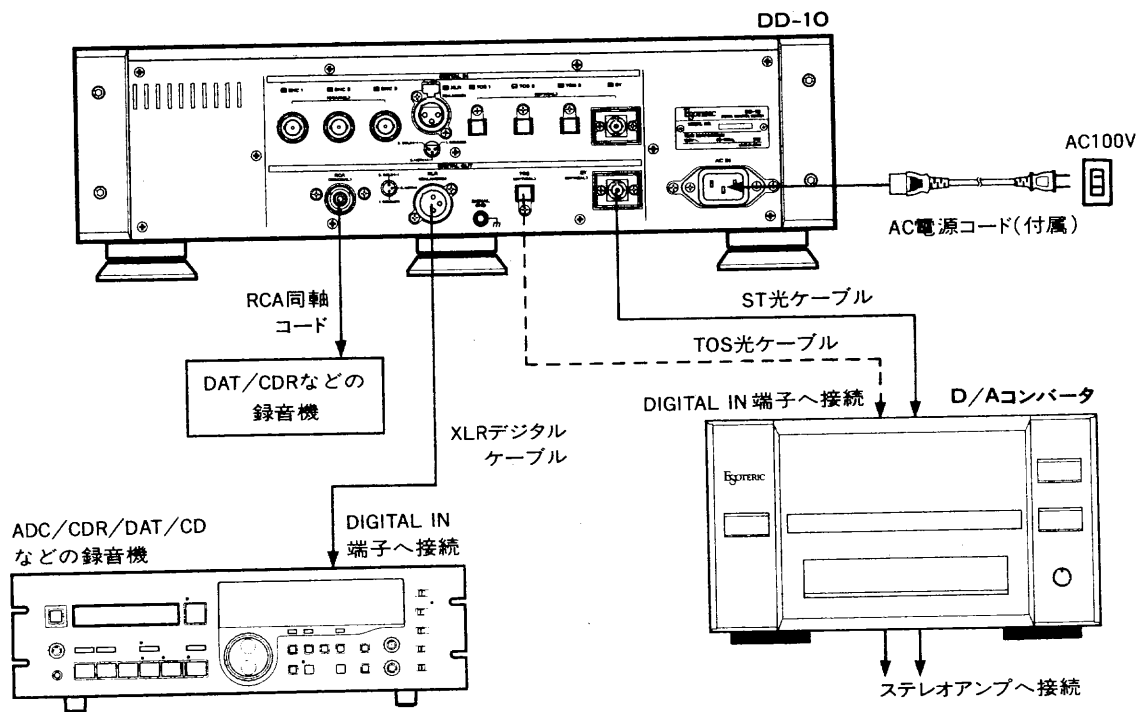
- BNC(COAXIAL) : BNCデジタルケーブルで接続します。
- XLR(BALANCED) : XLRデジタルケーブルで接続します。
- TOS(OPTICAL) : TOS光ケーブルで接続します。
- ST(OPTICAL) : ST光ケーブルで接続します。
- * 米国AT & T社製のST規格光ケーブル(EST-100/1m)を別売りしています。
- * OPTICAL端子に接続する際は、端子の“キャップ”をはずしてください。また、接続しないときは、“キャップ”を付けておいてください。



■デジタル出力端子に接続するには

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、必ず機器の電源を切ってから接続してください。
- 本機は[DIGITAL OUT]端子としてBNC(COAXIAL)、XLR(BALANCED)およびTOS・ST(OPTICAL)を備えていますので、4台までのデジタル録音機器およびD/Aコンバータを接続できます。
- * [BNC]端子にBNC-RCA変換プラグ(付属)を接続するとRCA同軸コードで接続できます。

- BNC(COAXIAL) : BNCデジタルケーブルで接続します。
- XLR(BALANCED) : XLRデジタルケーブルで接続します。
- TOS(OPTICAL) : TOS光ケーブルで接続します。
- ST(OPTICAL) : ST光ケーブルで接続します。
- * OPTICAL端子に接続する際は、端子の“キャップ”をはずしてください。また、接続しないときは、“キャップ”を付けておいてください。

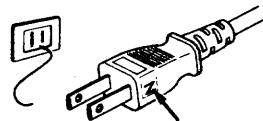


■電源の接続



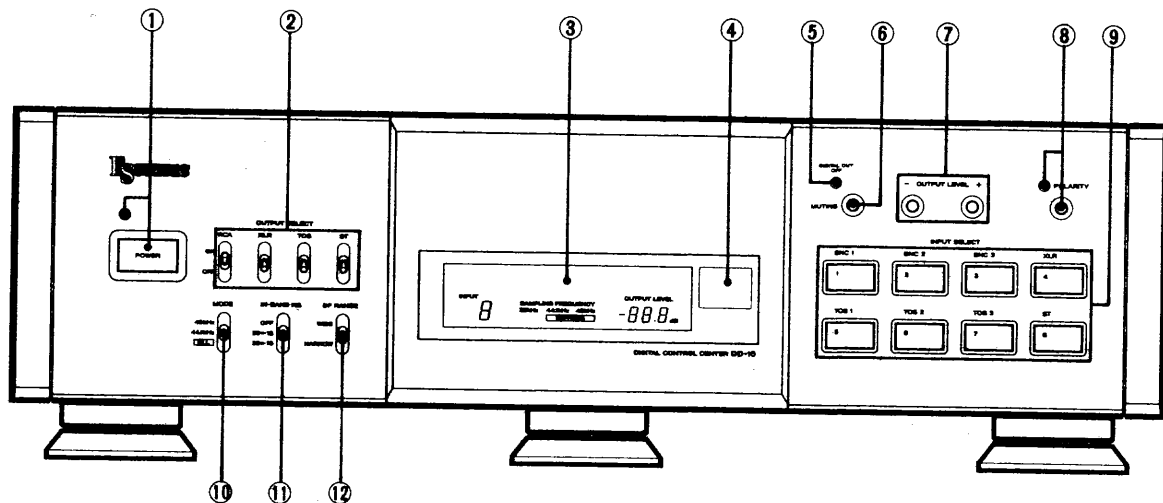
- 必ずAC(交流)100Vの電源コンセントに接続します。指定の電圧以外では使わないでください。
- 本機の電源は極性管理をしています。極性管理をしている電源コンセントでは、溝の短い方がホット側、長い方がアース側です。
- 電源プラグの側面に“N”印のある方がアース側になっていますので、極性を合わせて接続してください。

*極性を合わせていない場合でも、音質にほとんど影響はありませんが、微妙に音質が変わることがあります。極性の管理をしていない電源コンセントをお使いになる場合は、プラグの差し込み方を逆にして音を確認してください。



各部の名称と説明

■本体前面



①電源スイッチ(POWER)/パワー表示兼オペレ ティングLED

押してON(●)にすると電源が入ります。LEDが次のように点灯して、動作状態を表示します。

〔DSRLモードで動作しているとき〕:

「赤色」が点灯します。

〔PLLモードで動作しているとき〕:

「橙色」が点灯します。

●PLLモード動作中に入力信号が断られたときや、デジタル入力信号をサーチ中のときは、「赤色」が点灯します。

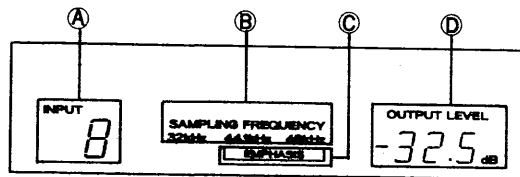
●パワー表示/オペレティングLEDは、電源ONの間、常時(リモコンでDISPLAY OFFにしても)点灯しています。

*電源スイッチON直後、バックアップデータを保持していると、各LEDは電源OFF時の動作状態を点灯し表示します。

②デジタルアウト切換えスイッチ (OUTPUT SELECT)

デジタル出力をRCA/XLR/TOS/STに、それぞれ独立してON/OFFできます。

③表示窓



④インプット (INPUT)

〔INPUT〕スイッチにより選択される、デジタル入力端子の番号(1~8)を表示します。

⑤サンプリング周波数〔SAMPLING FREQUENCY〕モード〔MODE〕スイッチの位置で次のように表示します。

48kHzの場合: 48kHzが点灯。

44.1kHzの場合: 44.1kHzが点灯。

PLLモードの場合: デジタル入力のサンプリング周波数を読みとり点灯。

- 32kHz: DBS (Direct Broadcast Satelliteの略)
- 44.1kHz: CD、録音済みDATソフトテープ
- 48kHz: DBS、DAT (録音再生)

⑥エンファシス〔EMPHASIS〕

エンファシス信号が記録されているディスクの再生時に点灯表示します。

⑦出力レベル表示

出力レベルをデジタル表示します。

*サーチ中や電源スイッチON直後は、バックアップデータにより、最後のデータを表示します。

*バックアップデータの保持期間は1週間です。

*バックアップデータが消失しているときは、電源ON直後、1回だけNEXTサーチをします。出力レベルは-30dBを表示します。

④リモコン受光窓

⑤デジタル出力表示LED

リモコンの[DIGITAL OUT]OFF/ONキーの操作状態で次のようにLEDが点灯します。

デジタル出力ON：消灯。

デジタル出力OFF：青色点灯。

⑥ミュート・キー[MUTING]

キーを押すと、デジタル出力をミュートし、表示窓の[OUTPUT LEVEL]が(. dB)を表示します。もう1回キーを押すと解除します。

⑦出力レベル・キー[-OUTPUT LEVEL+]

デジタル出力のレベルを調節します。

可変範囲：-42.0～+6.0dB

キーを押し続けると、連続的にアップまたはダウンします。

- ・+6～-6dB(0.5dBステップ)
- ・-6～-25dB(1.0dBステップ)
- ・-25、-28、-30、-32.5、-36、-42dBの順にステップ。

⑧ポラリティ・キー[POLARITY]/

ポラリティ表示兼スクランブル表示LED

ポラリティ・キーを押すと、デジタル入力信号の極性が反転します。もう1回キーを押すと、正相の入力信号になります。[POLARITY]キー、またはリモコンの[POLAR]、および[SCRAMBLE]キーの操作状態で次のようにLEDが点灯します。

ポラリティOFF(正相)/スクランブルOFF：消灯。

ポラリティOFF(正相)/スクランブルON：緑色点灯。

ポラリティON(逆相)/スクランブルOFF：赤色点灯。

ポラリティON(逆相)/スクランブルON：橙色点灯。

通常はスクランブルOFFでご使用ください。

(15ページ参照)

⑨インプット切換えキー(INPUT SELECT)

押したキーと同番号の[DIGITAL IN]端子の番号を選択します。接続機器の有無にかかわらず同番号の入力端子に切り換わり、表示窓に番号を表示します。

⑩モード・スイッチ(MODE)

48KHz : DSRL IIモードになり、動作および出力サンプリング周波数を48KHzにします。

44.1KHz : DSRL IIモードになり、動作および出力サンプリング周波数を44.1KHzにします。

PLL : 2nd PLLモードになり、32kHz/44.1kHz/48kHzのデジタル入力に準じた動作をします。

⑪インバンド・ノイズシェーピング(IN-BAND NS)

出力ビット数を切換えることができます。

OFF : 20ビット出力(最大ビット数)。

20→18 : 18ビット出力(下位2ビットノイズシェーピング)。

20→16 : 16ビット出力(下位4ビットノイズシェーピング)。

⑫出力遮断特性切換えスイッチ(DF RANGE)

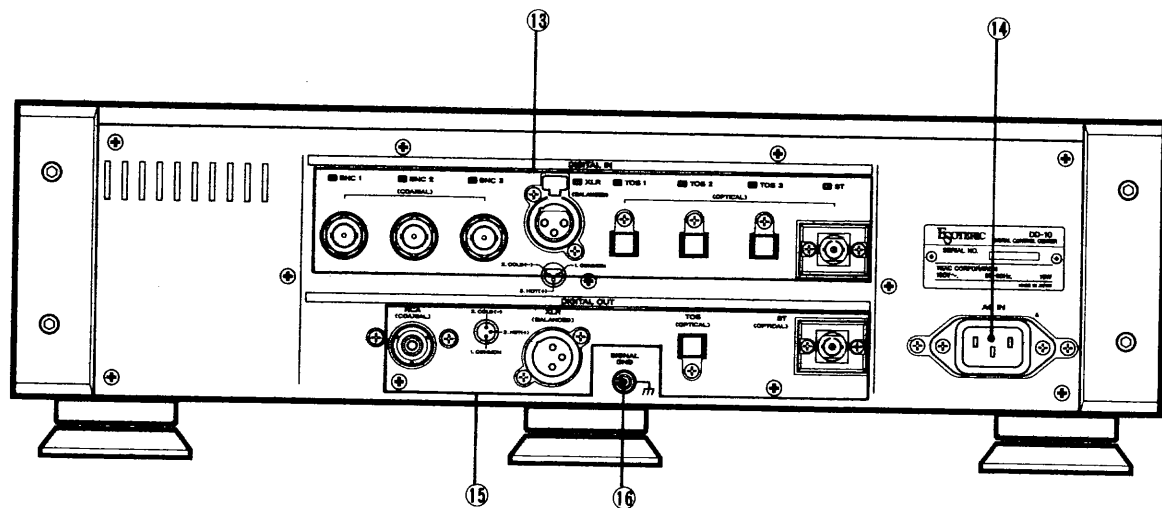
デジタル出力の遮断特性を切換えます。

WIDE : 減衰特性を20dB緩和します。

NARROW : $F_s/2$ 通過帯域以上を急峻に減衰します。

*⑩～⑫のスイッチは、それぞれ切換えた瞬間に、一時的にデジタル出力をミュートします。約4秒以内で自動的に解除します。

■本体背面



⑬デジタル入力端子〔DIGITAL IN〕

デジタル出力端子を備えた機器を接続します。

- **BNC(COAXIAL)X3** : BNC同軸コードで接続。
- * [BNC]端子にBNC-RCA変換プラグ(付属)を接続するとRCA同軸コードで接続できます。
- XLR(BALANCED)** : XLRデジタルケーブルで接続。

TOS(OPTICAL)X3 : TOS光ケーブルで接続。

ST(OPTICAL) : ST光ケーブルで接続。

⑭電源入力〔AC IN〕

AC電源コード(付属)を接続します。

⑮デジタル出力端子〔DIGITAL OUT〕

D/AコンバータやDAT/CDRなどのデジタル録音機器を接続します。

RCA(COAXIAL) : RCA同軸コードで接続。

XLR(BALANCED) : XLRデジタルケーブルで接続。

TOS(OPTICAL) : TOS光ケーブルで接続。

ST(OPTICAL) : ST光ケーブルで接続。

リモコンの「DIGITAL OUT」キーでデジタル出力をON/OFFできます。キーを押すとLEDが青色に点灯し、デジタル出力をOFFにします。

もう1回押すと、LEDが消灯してデジタル出力がONになり、出力します。

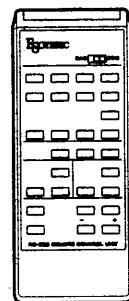
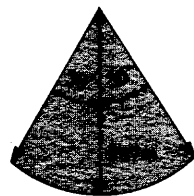
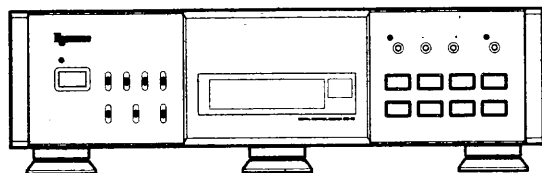
* 非オーディオデータ信号が入力したときは、デジタル出力を強制的にOFFにします。

⑯アース端子〔GND〕

リモート・コントロール・ユニット(リモコン)について

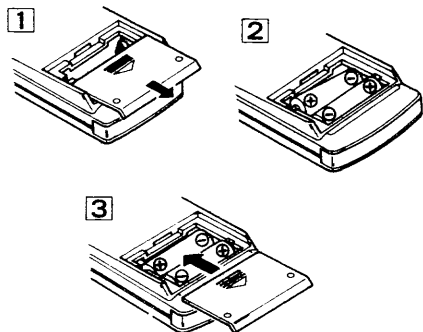
付属のリモコンで、電源をON/OFFすることはできません。

障害物があったり、操作時の角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。



■電池について

リモコンへの装着



- ① 裏側のふたを開ける。
- ② ⊕、⊖の向きに注意して単4電池をはめ込む。
- ③ ふたを閉める。

電池の交換時期は……

操作範囲が狭くなったり、リモコンの操作キーを押しても本機が動かない場合は、電池が消耗しています。新しい電池に2本とも交換してください。

電池についてのご注意



乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの危険があります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

1. 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースの指示どおりに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 乾電池は絶対に充電しないでください。

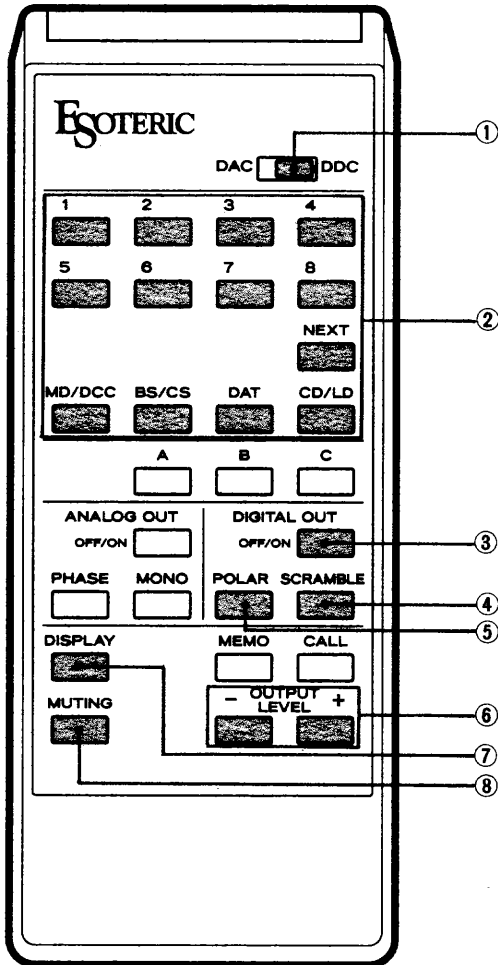
■使用上のご注意



- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しない時は、電池の液漏れを防ぐために電池を取出してください。もし液漏れを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭取ってから新しい電池を入れてください。
- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。

■RC-595 リモート・コントロール・ユニット(リモコン)

電源のON/OFFはできません。



①「DAC/DDC」キー

本機では“DDC”を選択してご使用ください。“DAC”を選択しても作動しません。

②インプット切換えキー

●「1～8」：押したキーと同番号の〔DIGITAL IN〕端子の番号をダイレクトに選択します。

接続機器の有無にかかわらず、同番号の入力端子に切り換わり、表示窓に番号を表示します。

●「NEXT」：キーを押すと、現在選択している次のINPUT番号から順番にサーチして、次に接続されているINPUT番号を選択し、番号を表示します。他のすべての入力端子に接続機器がない場合は、一巡してサーチを終了します。サーチ実行中は、「1～8」キーと「カテゴリー」キーのみ受け付けます。

●「MD/DCC」、「BS/CS」、「DAT」、「CD/LD」カテゴリー切換え：押したキーと同名称の機器が自動的に選択されます。押したキーと同名称の機器が接続されていない場合は、一巡してサーチを終了します。サーチ実行中は、「1～8」キーと「カテゴリー」キーの再度押しのみ受け付けます。

*「NEXT」キーと「カテゴリー」キーは、〔DSRLL〕モードで動作実行します。

③「DIGITAL OUT」キー

デジタル出力をOFF/ONします。

デジタル出力ON：消灯。

デジタル出力OFF：青色点灯。

④スクランブル・キー「SCRAMBLE」

テ・スクランブル機能を装備している機器を接続したときのみ、スクランブル機能が動作します。ST(光)出力のみをスクランブルON/OFFします。スクランブルON/OFF表示は、ポラリティ表示LEDが兼ねています。

⑤ポラリティ・キー「POLAR」

デジタル入力信号の極性を反転します。キーを押すと逆相になり、もう1回押すと正相に戻ります。LEDの表示は、スクランブルON/OFF表示も兼ね、次のように表示します。

ポラリティOFF(正相)/スクランブルOFF：消灯。

ポラリティOFF(正相)/スクランブルON：緑色点灯。

ポラリティON(逆相)/スクランブルOFF：赤色点灯。

ポラリティON(逆相)/スクランブルON：橙色点灯。

⑥出力レベル・キー「-OUTPUT LEVEL+」

デジタル出力のレベルを-42.0~+6.0dBの範囲で調節できます。キーを押し続けると連続的にアップまたはダウンします。

⑦ディスプレイ・キー「DISPLAY」

パワー表示LEDを除く、すべての表示のみをON/OFFできます。消灯中に他のキーを操作した場合、押したキーの動作になります。

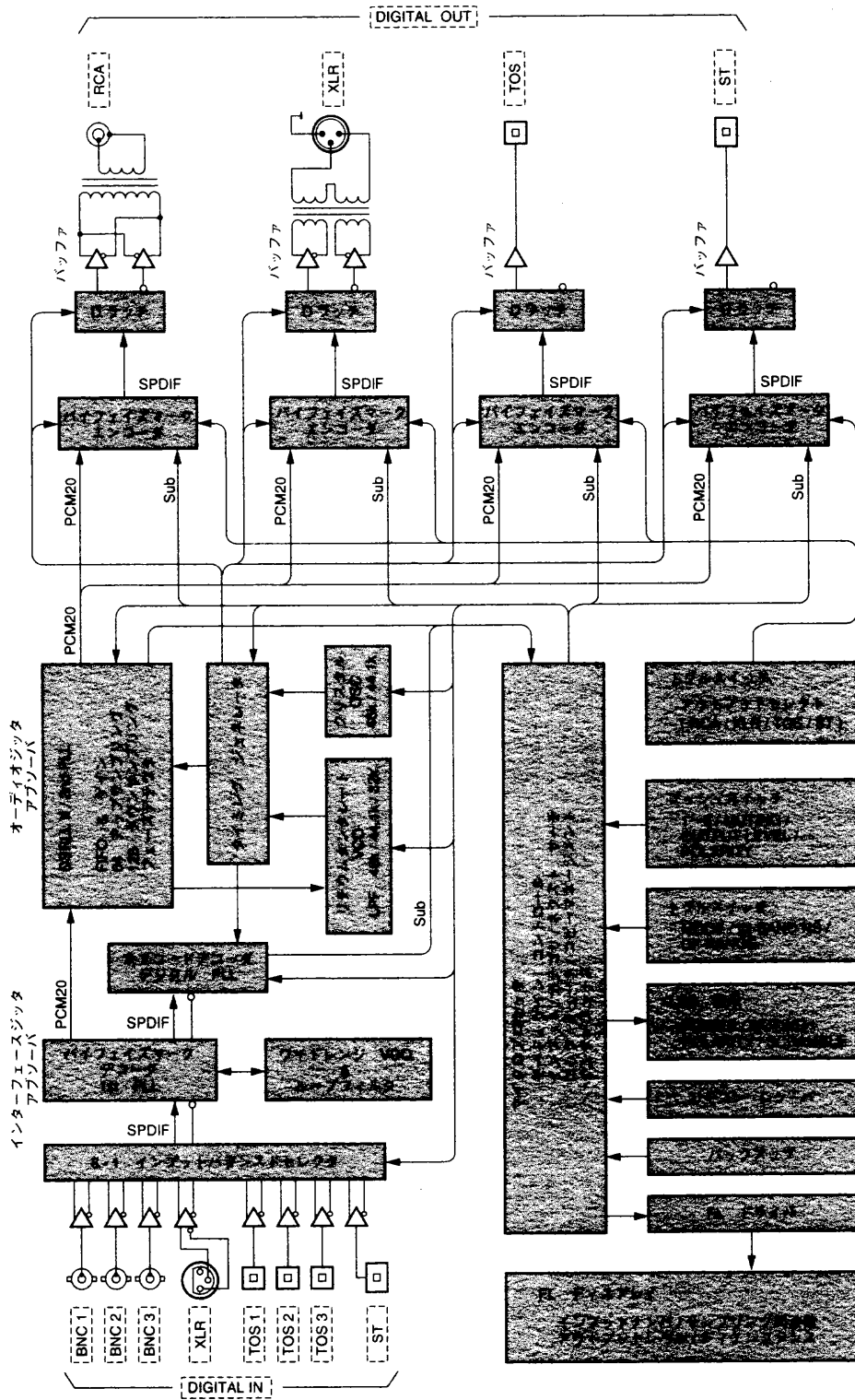
⑧ミュート・キー「MUTING」

キーを押すと、デジタル出力をミュートし、表示窓の[OUTPUT LEVEL]が(. dB)を表示します。もう1回キーを押すと解除します。

ご注意

- 説明がない次のリモコン・キーは、本機では機能しません。
「A」キー、「B」キー、「C」キー、「ANALOG OUT」キー、「PHASE」キー、「MONO」キー、「MEMO」キー、「CALL」キー。
- 「MD/DCC」、「BS/CS」、「DAT」、「CD/LD」のカテゴリー・キーと「NEXT」キーは、[DSRL]モードでロックするデジタル入力をサーチします。

■ブロック図



アフター・サービスについて

1. この製品には“御愛用者カード”が添付されております。カードは、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、必要事項を記入の上、なるべく早くご返送下さいますようお願い致します。
2. 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は、保証書の記載内容により、当社サービス機関が修理いたします。
その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店、もよりの当社営業所またはサービス・センターにご相談ください。
保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
なお、営業所、サービス・センターの所在地および電話番号は、裏表紙をご覧ください。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

■サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、ご購入のお店または裏表紙の住所欄に記載の各営業所などにご連絡ください。

1. 型名、型番
2. 故障の内容
3. お買い上げ年月日「○年○月○日」
4. お名前、住所、電話番号

■お客様のご相談について

製品に関する技術的なお問合せは、AV技術相談室へお寄せください。

〒180 東京都武蔵野市中町3-7-3

AV技術相談室 ☎(0422)36-2210

仕様

<オーディオ>

チャンネル数	L/R 2チャンネル
ゲイン制御	-42~+6dB ±0.3dB
通過帯域	DC~0.45351 Fs IN
リップル特性	デジタル出力 ±0.001dB以内 アナログ出力 ±0.1dB以内

受信範囲

PLLモード	: 48kHz ±2000PPM以内
	: 44kHz ±2000PPM以内
	: 32kHz ±2000PPM以内

DSRLLモード	: 18~62kHz
BOTHモード	: 44.1kHz/48kHz
WD SYNCモード	: 44.1kHz/48kHz

動作周波数

	768×Fs IN
Fs 48kHz	: 36,864MHz ±50PPM以内
Fs 44.1kHz	: 33,8688MHz ±50PPM以内

入力レベル

No.1~3	BNC 同軸	: 0.5Vp-p ±0.3V/75Ω
No.4	XLRバランスD	: 3~10Vp/110Ω
No.5~7	TOS光	: -24~-14.5dBm
No.8	ST光	: -30~-10dBm

出力レベル

デジタル入力 SPDIF	: 0.5Vp-p±0.1V/75Ω
WD SYNC	: 3Vp-p±0.5V/75Ω
アナログ出力 RCA	: 2.0Vrms±0.1V/47KΩ
XLR	: 3.2Vrms±0.2V/600Ω

入力サーチ時間

4秒以内/1入力当り

有効ビット数

20ビット

THD+NOISE

デジタル出力: 0.0003%以内
アナログ出力: 0.0020%以内

S/N比

アナログ出力 115dB以内

セパレーション

アナログ出力	113dB以内
ダイナミックレンジ	
デジタル出力	113dB以内
アナログ出力	111dB以内

DCオフセット

アナログ出力	±3mV
バックアップメモリ	1週間標準

入力番号、出力レベル、フェイズ
切換え、モノラル切換え、アナ
ログ ON/OFF、デジタル ON/OFF、
A, Bキーを記憶。

<一般>

電源	100V AC 50-60Hz
消費電力	27W
外形寸法(W×H×D)	465×140×352mm (ピンポイント脚含む)
質量	15Kg

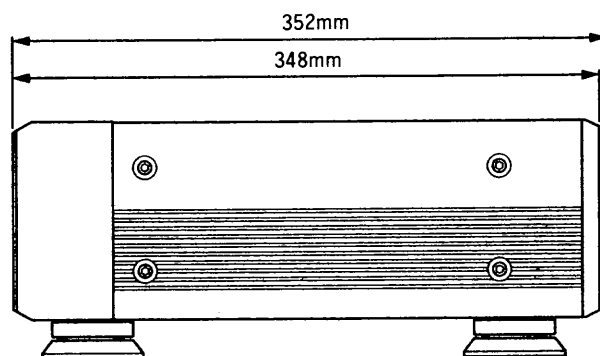
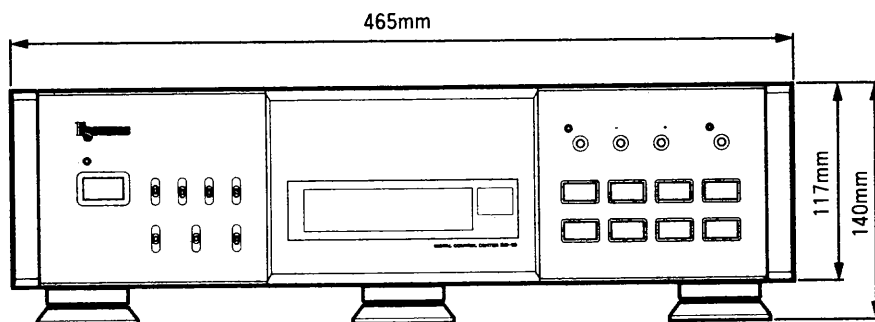
<付属品>

- AC電源コード
- リモコン(RC-595)
- 乾電池(単4 UM-4)×2
- 取扱説明書(バインダー含む)
- 御愛用者カード
- BNC-RCA変換プラグ×4
- 脚×3
- ピンポイント脚×3

*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

*製品の改善により、取扱説明書の写真などが一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

寸法図

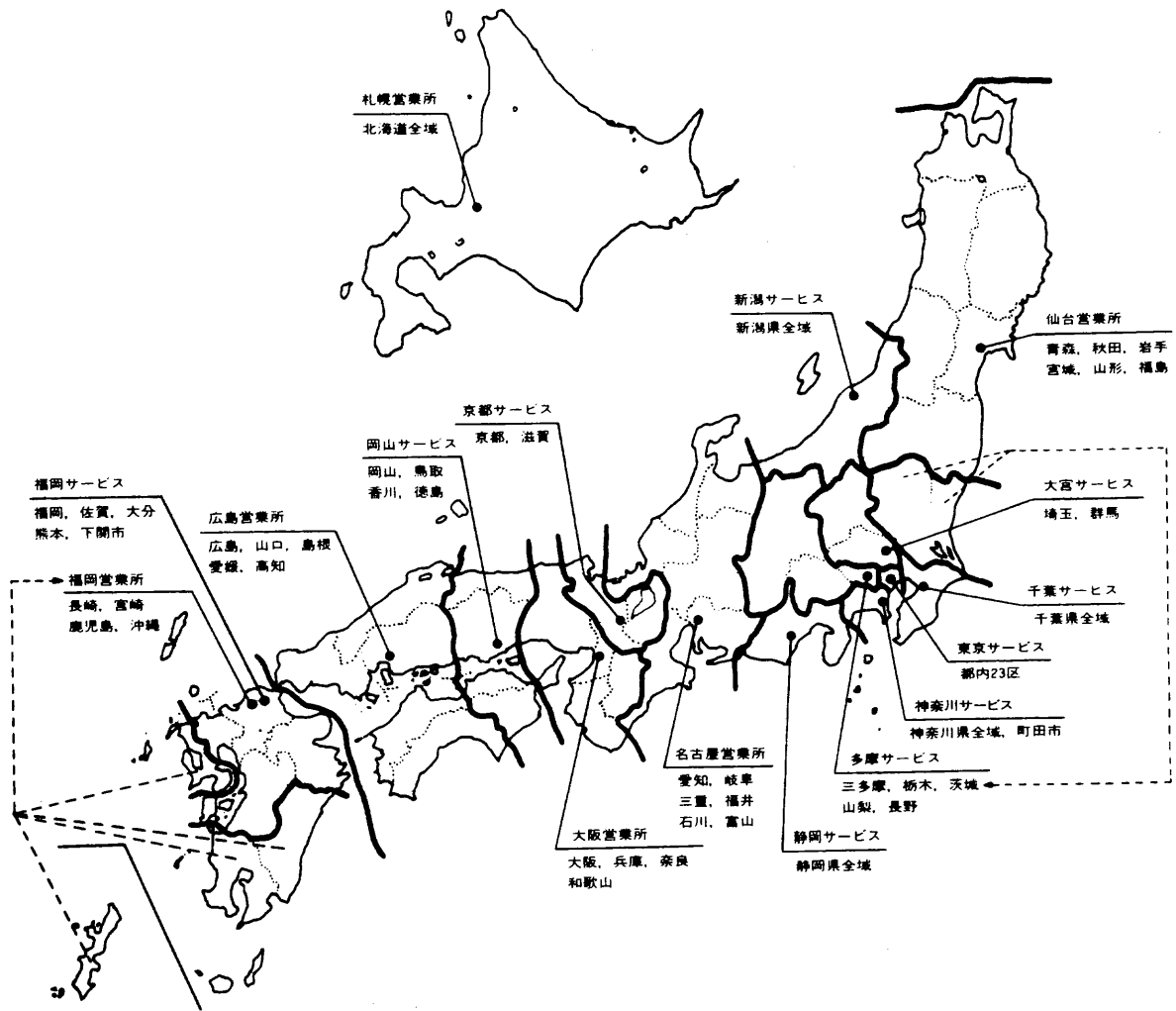


音のエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜間は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

TEAC・サービス・エリア



ティアック株式会社

オーディオ部 ☎ (0422)52-5073

〒180 東京都武蔵野市中町3-7-3

技術的なお問合わせ

AV技術相談室 ☎ (0422)36-2210

〒180 東京都武蔵野市中町3-7-3

サービスに関するお問合わせは、最寄りの営業所等へご連絡ください。
営業所にはサービス・センターが併設されています。

札幌営業所 ☎ (011)521-4101(代)
仙台営業所 ☎ (022)227-1501(代)
新潟サービス ☎ (025)245-0103
大宮サービス ☎ (048)642-4551
多摩サービス ☎ (0422)52-5102
東京サービス ☎ (03)3592-1827
千葉サービス ☎ (043)255-1281
神奈川サービス ☎ (0427)46-6850
静岡サービス ☎ (054)238-2431
名古屋営業所 ☎ (052)702-3100(代)
京都サービス ☎ (075)871-8730
大阪営業所 ☎ (06)384-5201(代)
岡山サービス ☎ (0862)25-8601
広島営業所 ☎ (082)294-4751(代)
福岡営業所 ☎ (092)431-5781(代)
福岡サービス ☎ (092)936-5672

〒064 札幌市中央区南7条西2-2 くぼたビル
〒980 仙台市青葉区1番町2-5-5 中央ビル
〒950 新潟県新潟市本馬越1-4-11 黒井ハイツ
〒331 大宮市三橋2-846
〒180 東京都武蔵野市中町3-7-3
〒100 東京都千代田区永田町2-10-7 星ガ岡会館
〒260 千葉市中央区権森1-21-13 清水ビル
〒228 相模原市上鶴間3553-1 グリーンシティビル
〒422 静岡市高松1-12-1 寿道ハイツ105号
〒465 名古屋市名東区上社5-406
〒616 京都市右京区常盤窪町19 西垣ビル
〒564 吹田市垂水町3-34-10
〒700 岡山市新保1142-6
〒730 広島市中区西川口町13-19
〒812 福岡市博多区東光2-2-24
〒81-77 福岡県粕屋郡志免町志免1041

営業所またはサービス・センターの電話番号や住所などは、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。